千年カルテ参加のメリット

NPO日本医療ネットワーク協会　理事長
一般社団法人LDI　理事
宮崎大学医学部附属病院　病院IR部　教授
荒木賢二

医療施設に直接メリットのあるサービス

Services that directly benefit medical facilities

- **質の高い医療の提供のために**

患者向けPHRサービス
EHR（施設間医療情報連携）
診療ベストプラクティス公開サービス
診療アラートサービス

- **安定した医療の提供のために**

バックアップ保存
経営分析サービス

医療　**経営**

医療施設

研究　**教育**

臨床研究支援サービス
治験支援サービス

教育用資材提供サービス（将来構想）

- 蓄積されたデータを分析・加工し、教育用の資材を作成、提供します。

- **医学・医療の発展のために**
- **医療技術の継承のために**

［1］ 臨床研究支援サービス
［2］ 治験支援サービス
［3］ 経営分析サービス

臨床研究支援サービス

千年カルテ参加の多くの病院から送られ蓄積された医療情報（医療リアルワールドデータ）を『後ろ向き観察研究』にご利用頂けます。

❖分析の例
- ●疾患を限定した疫学や治療に関する大規模後ろ向き観察研究
- ●臨床研究準備のための探索研究
- ●ガイドライン遵守状況調査
- ●クリニカルパス作成時のエビデンスとなる臨床成績分析　など

サービス名	基本分析支援サービス	本格研究分析支援サービス
内容	研究プロトコル作成に必要なプレ調査（現状把握・サンプル調査）を行うサービスです。 事前に準備された基本分析メニューを活用することで千年カルテ参加医療機関の集計結果（統計処理）を迅速に提供します。	専門の分析要員（コンサル）が研究者と一緒に分析仕様を検討し、匿名加工医療情報を提供いたします。その他、一般的な分析のご支援、分析結果を基にした考察や深堀分析による臨床医の学会発表・論文作成に必要となる分析レポートの提供、論文審査支援等もご相談に応じて対応いたします。
その他	・無償 ・1施設様あたり1回/年のご利用	・個別見積り ・具体的な進め方は個別に相談させていただきます。

☞ 本格研究分析サービスでは、研究テーマに基づく「匿名加工情報」の提供サービスも参加医療施設には無償にて提供する予定です。
提供にあたっては、ライフデータイニシアティブの「利用目的等審査委員会（倫理規定に基づく運営組織）」の審査が必要です。

メリット
論文数アップ！！

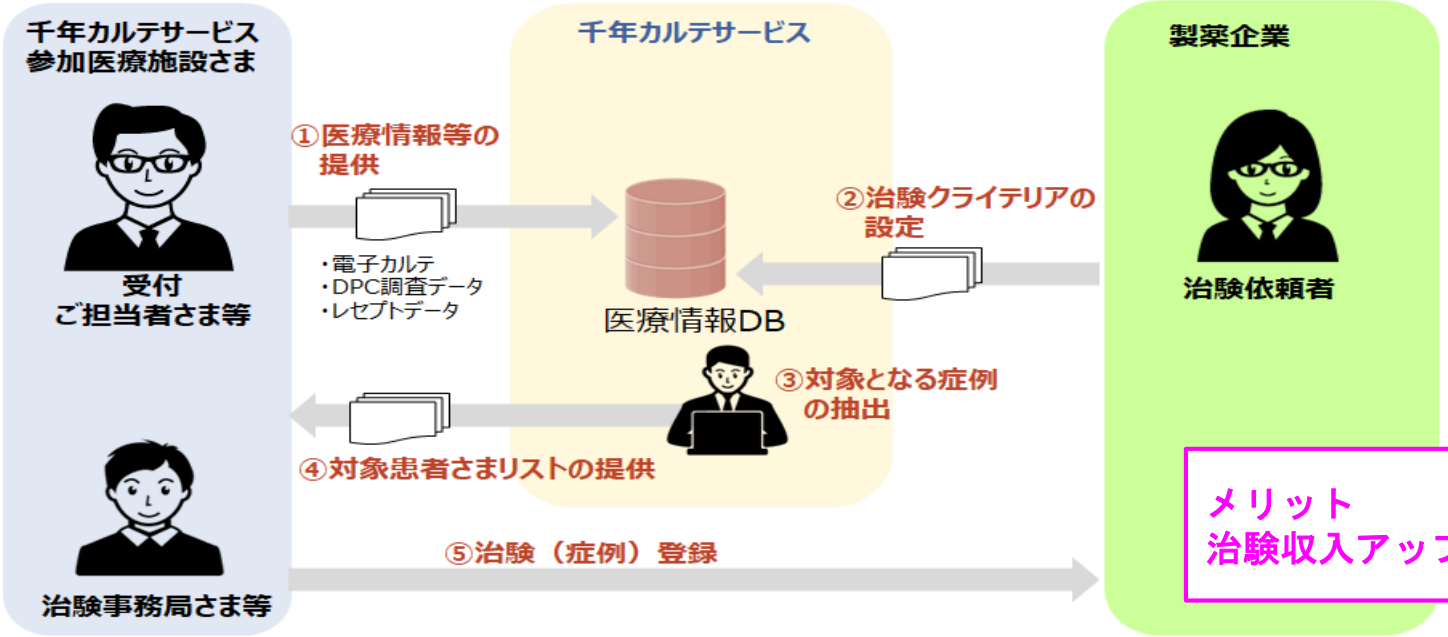
［1］ 臨床研究支援サービス
［2］ 治験支援サービス
［3］ 経営分析サービス

治験支援サービス　　治験PROサービス

PRO：治験の被験候補者をリストアップする事業

収集した医療情報等をもとにしたPROの実現に向け実証試験を進めております。
被験者リクルーティングにかかる医療施設さまの負担軽減、治験に参加する機会の創出することで参加医療施設の収益向上に貢献します。

サービスモデル（案）



☞ 治験PROサービスを利用する際は、日本医療ネットワーク協会への申し込みが必要です。
利用申込みの無い施設の情報は参照（データ抽出等）を行うことはございませんのでご安心ください

メリット
治験収入アップ！！

［1］ 臨床研究支援サービス
［2］ 治験支援サービス
［3］ 経営分析サービス

経営分析サービス1

- aiMercury操作説明_収支分析ベンチマーク.mp4
- 第0回イントロダクション.wmv
- 第1回総論【1】組織構築.wmv
- 第2回総論【2】経営改善因果推論.wmv
- 第3回総論【3】経営分析手法.wmv
- 第4回総論【4】原価計算の理論と実践.wmv
- 第5回各論【1】在院日数が短縮し、ベッドが空く.wmv
- 第6回各論【2】入院患者が増える.wmv
- 第7回各論【3】収入が増える.wmv
- 第8回各論【4】コストが削減する.wmv
- 第9回各論【5】収支が改善する.wmv
- 第10回各論【6】部署ごとの分析.wmv
- 第11回グループワーク、演習説明.wmv

経営分析サービスは、参加医療施設から提供されるDPC調査データ/レセプトデータを基に、自院の経営分析に役立つ様々な分析レポートを提供します。
自院の「原価情報（1回/年）」を提供いただくことで、疾患別の費用比較、人員適正化分析などの提供も可能です。（多くの施設からの提供をお願いします。）

サービス1　医療サービス経営論　e-Learing

貴院の経営分析担当者向けに病院経営分析、経営改善のための教育プログラムを用意しました。
大学院修士課程の2単位相当に該当します。
全てe-Learingで受講可能で、最終プロセスでは自院の情報を用い様々な分析を行っていただきます。

〔到達目標〕
①経営分析に必要な基礎知識と具体的な手法を理解し自院の経営分析を行う人材を育成する。
②経営改善のための原因究明（因果推論）ができる人材を育成する。
③効果的なプレゼンテーションにより、経営改善の提案ができる人材を育成する。

☞本内容は、国立大学病院の研究成果を基に参加医療施設の皆さまへお届けします。

メリット
経営改善！！

経営分析サービス2

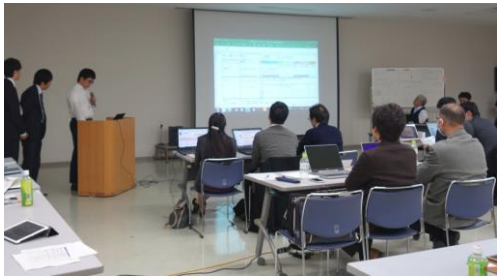
サービス2　経営分析アカデミー　（集合研修）

医療サービス経営論e-Learingにグループワークや演習を加え、経営分析担当者を即戦力として教育する集合研修プログラムです。（e-Lerring受講者が対象となります。）

❑ アカデミー実施内容

- 集合研修によりグループワークを行います。（分析ソフトを使用し様々な分析を行い、その成果を発表頂きます。）
- 自院の経営分析の実施（研修で得た知識を利用し、自院データを用いて診療科別収支分析等を行っていただきます。）
- 自院の経営分析のプレゼンテーション（アカデミー参加者へテレビ会議にて発表いただきます。）

経営改善アカデミー
グループワーク実施風景



貴院の経営分析力、経営改善力を高めます

メリット
経営改善！！

経営分析サービス3

サービス3　aiMercury（原価計算を含めた高度な分析システムを提供します。）

aiMercuryは、日本医療ネットワーク協会が貴院に提供する経営分析システムです。以下の特徴を有しています。

①原価計算：最も細かい粒度の診療行為別原価計算を実施します。診療行為別原価を集計し、患者別、DPC別など様々な原価を分析できます

②エクセル：PowerPivot for Excelを用いています。よく慣れたエクセルの画面で分析できます。

③データ更新：収入データについては、DPCデータを毎月～3ヶ月に1回ご提供いただき集計結果を返します。収支分析については、費用データを年1回ご提供いただき、収支分析結果をお返しします。

④教育プログラム：aiMercuryの操作説明e-Learingビデオを用意しています。更に経営改善アカデミーで具体的にトレーニングを行います。

aiMercuryを用いた具体的な分析

- **診療科別収支分析**
  - 最も重要な分析です。各診療科の収支（赤字）を明らかにし、原因究明を行います。
- **集患分析**
  - 今後は人口減少に伴い患者数が減少します。集患分析は病院の生き残りをかけた重要な分析です。
- **施設基準分析**
  - 加算/管理料等を増やすことにより、確実に収入増を図ることができます。ベンチマークで自院の弱みを把握し、シミュレーションにより戦略を立てます。
- **人員適正化分析**
  - 人件費は病院最大の支出です。診療支援部門も含めて、適正な人員について分析を行います。

☞ 上記の他、DPC調査データ/レセプトデータを基に、様々な分析サービスを用意しています。
☞ また、有償サービスとなりますが、スタッフが定期的に訪問し、診療現場のヒアリング等により課題 の探索を行う双方向のコンサルサービスを用意しています。
（詳しくは日本医療ネットワーク協会にお問合せください。）

メリット
経営改善！！

aiMercuryデモ